

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：あおぞら第2保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：森 博	定員（利用人数）： 60 名
所在地： 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋2-34-8	
TEL：045-413-1114	ホームページ： http://www.yokohama-aozora.com
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成12年12月11日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人あおぞら	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員 34名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 28名 看護師 1名
	栄養士 4名
施設・設備の概要	（居室数）
	8室
	（設備等）
	医務室 給食室 事務室 休憩室 など

③理念・基本方針

<p><保育理念></p> <p>地域の母親たちの要求から生まれた共同保育の精神を受け継ぎ、保育は幼児教育であるとして子ども一人ひとりの全面発達を保障する。</p> <p><保育方針></p> <ul style="list-style-type: none">産休明けから就学前までの一貫した集団保育を通し乳幼児の全面発達を目指します働く父母の就労保障のできる延長保育を致します障がい児保育の実践・研究に取り組みます地域の中で育児に悩む父母たちと共に子育てについての相談・学習等を行い、地域の子育てセンターとなるよう努力します子育ての同じ思いを持つ、父母たち地域の人々他の団体とも協力し要求実現のため努力します乳幼児の全面発達を保障していくうえで不可欠の条件である職員の資質向上について積極的にとりくみますこれらを進めていくうえで不可欠な民主的な運営を進めます

④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none">子どもたちの全面発達を保障するために人格形成の土台である乳幼児時期に大人の深い愛情のもと、自ら自然や物、人に働きかけて体験すること＝全身を使って遊ぶことを大切にしています。地域子育て支援センター「いちご畑」が施設内にあり、地域子育て支援事業を園全体で取り組んでいます。横浜市乳幼児健康支援一時預かり事業 病後児保育室 さくらんぼを実施しています。

・父母の会との共催行事を開催し、子どもたちのために保護者と保育園がつながりあり、子育てをしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 4月 1日（契約日） ～ 2024年 1月 9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（ 2018 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子ども達は保育士に見守られながら、のびのびと園生活を楽しんでいます

子ども達は自由ののびのびと楽しそうに活動しています。散歩では隣接している岸根公園で、広い原っぱをみんなで端から端まで走ったり、斜面をゴロゴロ寝転んで下ったり、お尻をついて滑ったりと全身を使って遊んでいます。園庭では幼児が保育士に「三輪車を出して」と言って三輪車遊びをしたり、「ドロケイ」を提案して自らオニになって遊びを引っ張ったりしています。園庭の片隅では保育士の真似をして土を固めたり、型抜きをしたり、指先で土の感触を味わったりと思い思いに遊んでいます。それぞれがやりたいこと、できることを一生懸命にやって楽しんでいます。保育士は子どもの様子を見て、危険な行動がないか気を配り、木の枝を見つけて持っている子どもには「硬いのはやめておこうね」と声掛けしています。保育士は一人ひとりの子どもの成長に合わせて、それぞれのペースに合わせて丁寧に対応しています。また、子ども達の主体性をできるだけ引き出すよう支援しています。

◆地域への取り組みを多彩に、積極的に行っています

「地域の母親たちの要求から生まれた共同保育の精神を受け継ぎ」、園は「地域の子育てのセンターとなるように努力する」ことを保育理念・方針で明言しています。その活動の一環として地域子育て支援センター「いちご畑」で園庭開放、園児との交流保育の「あそぼ！会」を運営したり、病後児保育室「さくらんぼ」を運営したりしています。地域の保護者等への支援として「盆踊り大会」「ふれあい祭り」「親子レストラン」「あそぼ！会」「子育て相談事業」を展開したり、園の行事に地域住民を招待したり、高齢者との交流の他、さらには中学生、高校生の職業体験としてのボランティアを積極的に受け入れています。このように設立の精神を受け継いで地域との多彩な関係作りに取り組んでいます。

◆中長期計画を策定し、それに基づく実効性のある単年度計画を策定していくことが期待されます

現在、中・長期計画及び単年度計画は法人の事業計画の中で触れられていますが、園としての独自の計画は作られておらず、その中では「具体的な取り組み」、「達成方法」、「時期」などは記載されていません。そのため、期末にこれらの項目が達成できたのか評価することができていません。今回の第三者評価にあたっての職員アンケート調査でもこれらの点についての評価は低い結果となっています。また職員の意見から、経営の改善や業務の効率化への取りくみ、職員の就業状況を把握した働きやすい職場づくりへの取り組みなど組織運営の基本的な問題点もみられています。今後、経営層の組織運営の在り方を見直し、園独自の事業計画を策定して、職員にとっても働きやすい職場づくりに取り組むことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価機関である「よこはま地域福祉研究センター」の外部の評価を受け、保

育園の良いところ、子どもたちが職員に見守られながら、のびのびと園生活を楽しく送っていると評価をいただき、大変うれしく思っています。地域への取り組みに対しても大変良い評価をいただきました。しかし、園独自の中長期計画の策定が行われておらず、又、取組に対するPDCAが不足しているとのこと指摘もいただきました。

評価を受けた事で分かった良い点を伸ばし、弱点となった部分を改善し、さらに地域に開かれた保育園づくりに取り組み、子ども一人ひとりの姿に合わせた安心安全な保育を行って参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり